

# 委員会活動報告：地域活性委員会

[報告者]

認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会 理事  
東邦大学医学部精神神経医学講座 今川 弘

## ■活動の目的

我々JYPOのMissionは、日本全体、世界全体の精神医学の発展にあるが、そのMissionを達成する手段の1つとして、我々の手の届く範囲での医療や研究があると考えている。地域活性委員会のMissionは、地域ごとの勉強会や交流会のサポートを行うことにより、構成員のネットワークを強固なものとし、地域ごとの精神医療の質を向上させ、研究との連関を図ることで、JYPOのMissionを底支えすることである。

また、2020年度からはコロナ禍におけるオンラインツールの普及において、地域の枠に縛られたネットワーク形成から、全国的な会員の連結を行える環境になりはじめた。今後我々は、会員間で同様の興味を持つようなグループでの勉強会・交流会を行うことも勘案している。JYPO会員同士が水平につながり、分散したコミュニティを作りながら、精神医療を発展させていくことへの助力を行う。

## ■活動内容

### ●地域ワーキンググループ(WG)による勉強会

関西地域、北海道地域、関東地域においてWGによる勉強会が定期的に開催されている。

関西WGでは、WGが独立して企画運営を行い、年3～4回の地域ミーティングを主催している。症例検討会、精神療法の紹介、施設紹介、プレゼンテーション勉強会など、多種多様な企画を毎回用意し、参加者の好評を得ている。地域勉強会は会員外にも開かれており、非会員の若手医師、医学生、多職種（作業療法士、薬剤師など）の参加も可能とすることで、精神医療の横のつながりを広げ、職種による視点の違いや多様性を覚知し、視野を広げるきっかけとなっている。

北海道WGも年に1度程度で勉強会を行なっている。プレゼンテーション検討会や英語でのディスカッションといった若手医師向けのプログラムから、精神科入局に関する質疑応答等の医学生や初期研修医に向けたプログラムまで、幅広い参加者に向けた内容を企画している。北海道は活発な若手と、また非常に尽力いただいたJYPO卒業生が多くいる地域であり、活気のある会合となっている。

また、2021年9月からは関東地域においてもWGの企画を開始した。「若手精神科医の自助グループミーティング」をコンセプトに、若手精神科医を中心とした参加者間が医局や施設の制約から離れて自由に意見交換ができる場の提供を目的としている。今後、関東地域での若手精神科医のネットワークの構築、活性化が期待される。

他地域での活動も、今後展開予定であり、当委員会はその支援を行う予定である。

## ■今後の活動展開予定

### ●地域の枠を超えた、定期オンライン交流会

先述のように、地域を軸とした交流会を中心に委員会が支援を行ってきたが、2020年度からはコロナ禍における地域会合の開催が難しくなっている。依然精神医療は地域において臨床を行なっているわけであり、地域でのネットワーキングに価値はある。同時に、地域の枠を超えて見識を広げるチャンスも眼前に広がりつつあり、我々もこの機会を逃さず活用していきたい。

地域の枠が中心であった時には出会えなかった全国の医療者と出会い、若手精神科医が知的好奇心をくすぐられ、精神医療を発展させる契機となるオンライン交流の場を提供したいと考えている。精神療法勉強会やプレゼンテーション予演会、症例相談会など、地域の枠とは別に興味の枠で括ったオンライン勉強会を展開していくことで、会員同士がそれぞれのコミュニティを作成し、切磋琢磨していく土壌を作ることが、これからの地域活性委員会の目標となる。そしてこの活動を共に支援し、盛り立ててくれるメンバーを募集している。

(今川弘 連絡先: h.imagawa3355@gmail.com)

## ■活動メンバー

今川弘(東邦大学医学部 精神神経医学講座)

安藝森央(京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学教室 精神医学)

角幸頼(滋賀医科大学 精神医学講座)

出利葉健太(江別市立病院)

宮野史也(北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室)

倉持泉(埼玉医科大学医学部総合医療センター 神経精神科)

河岸嶺将(千葉県精神科医療センター)

清水俊宏(埼玉県立精神医療センター)